



笠山

阿久根市立三笠中学校
学校便り 12月号

校訓 自主 協調 持続

キャッチフレーズ
「凛とした生徒の育成
良さを見つけ、引き出し、
伸ばすみかさの教育」

剣道部男子が県大会優勝！ 50校の頂点に立つ！！

～ 県中学校新人剣道大会 ～

1回戦	三笠	5 — 0	皇徳寺
2回戦	三笠	1 — 1	清水 (代表戦)
3回戦	三笠	2 — 1	志布志
準々決勝	三笠	5 — 0	祁答院
準決勝	三笠	2 — 2	鹿屋東 (代表戦)
決勝	三笠	1 — 1	重 富 (本数差)

12月10日に行われた鹿児島県中学校新人剣道大会(男子の部)で剣道部が見事優勝しました。男子部員はわずか6名(2年生3名, 1年生3名)ですが、日ごろ鍛えた底力を発揮し、代表戦にもつれこむなどの大接戦を勝ち上がり、ついに参加50校の頂点に立ちました。今後、九州大会(2月)、全国大会(3月)に県代表として出場する剣道部のますますの活躍を祈ります。



優勝メンバーと顧問の山之口先生

無知が人の幸せを奪う ～ 人権学習でハンセン病について学ぶ ～

人権とは何でしょうか？ 私は人権とは「幸せになる権利」だと考えています。人は誰でも幸せに生きる権利があります。自分を大切にすることはもちろんですが、他の人も大切にしなければなりません。人の幸せを奪うことは重大な人権侵害であり、許されないことです。

しかし、残念ながら今もなお、様々な人権問題があります。その解決の第一歩は人権問題について正しく知り、人権意識を高めることだと思います。

本校では12月6日、ハンセン病元患者である上野正子さん(90歳)をお招きして人権学習を行いました。1927年、沖縄県石垣島で生まれた上野さんは13歳のときにハンセン病を発症し、鹿屋市の星塚敬愛園に入所させられました。当時、園は有刺鉄線で囲まれ、自由に外にも出られない環境でした。上野さんは「家に帰りたい」、「家族と暮らしたい」、「将来は教師になりたい」といった願いや夢も叶えられず、77年間という長い年月を園で過ごさざるを得ませんでした。このような過酷な人生を、しかも国家によって送られたことに私は怒りと深い悲しみを覚えました。同時に、7年ほど前、南日本新聞の「南点」というコラムに掲載された園田美保氏(当時鹿児島女子短大教養学科講師)の次の一文を思い出しました。



出張先で乗ろうとしていたタクシーの運転手さんが携帯電話で「いつもの500円の3つで良いのですね」と私的な会話。正直「おや？」と思った。運転手さんは申し訳なげに「すみませんね」と、そして「ハンセン病の方でね、時々代わりに買い物をして持って行くんですよ」と加えた。

外出できないほど体調が悪い方なのかな、などと考えた。すると運転手さんが話を続けた。「いや、自分でスーパーなんかに行くと、子どもが『汚い』とか言って、つばを吐きかけたりするみたいなんですよ」

一瞬、頭の中が真っ白になった。そして最初にしたのは「辛い」という感情であり、落涙しかけた。日常生活の中でそんなことって、あるのか、と。

そして次に思ったのは、子どもがつばを吐くという行為について。自然とできる振る舞いではない。どう覚えたのだろう。見たことがなければ、それが他者に対して強烈に否定的な感情を表す行為だということも知りようがないだろうから。願わくはテレビか何かで、現実にそのような大人が子どもの周りにいてほしくはない。ぐるぐるときまざまに感じ、考えていた。(後略)

私はハンセン病患者への差別は無知が招いたものでもあり、と思います。「知らなかった」では決して済まされない人権侵害です。差別する心が生まれながらにあるはずはありません。周りの人々の言動がそんな心を育ててしまったのではないのでしょうか。子どもたちの人権感覚を育てることは私たち大人の責務です。そのためには大人自身が自らの人権感覚を高めていかなければならないと思います。

2学期の教育活動へのご支援・ご協力ありがとうございました

最も長い学期である2学期も保護者や地域の皆様のおかげにより充実して終わられますことに心から感謝申し上げます。新年が皆様にとりましてすばらしい年になりますことを祈っております。来年もどうぞよろしくお願いいたします。



望ましい食習慣の定着をめざして～食育への取り組み

朝食抜き、偏った栄養摂取…最近、子どもたちの食生活の乱れが指摘され、それに伴い肥満や痩身傾向、小児生活習慣病など、健康を取り巻く問題が深刻化しています。

そこで本校では本年度、望ましい食習慣の定着をめざして、食に関する様々な取り組みを行いました。8月20日の家庭教育学級では魚を使った料理に親子で挑戦しました。また、11月30日のPTA主催「親育ち教育講演会」では日本料理家である榎木春幸先生を講師にお招きして、健康によい食事や和食のすばらしさについて学びました。さらに、市学校給食センター栄養教諭の野村果代先生には11月16日の学校保健委員会、12月14日の給食試食会で保護者を対象とした食育講話、12月9日は全校生徒を対象に弁当作りのポイントを指導していただきました。なお、12月15日には市内の小・中学校で初めて「**自分で作る弁当の日**」を実施しました。生徒たちは自分なりに栄養を考えて作った弁当をおいしそうに食べていました。



▲ 魚を使った親子料理教室



▲ 和食の良さを学んだ講演会



▲ 弁当作りのポイントを学ぶ



▲ 自分で作る弁当の日

寒さを吹き飛ばして、力走！～校内長距離走大会

12月9日（土）、校内長距離走大会を実施し、男女全員が学校周辺の3.4kmコースに挑みました。

生徒たちは仲間や沿道の声援を受けながら力走し、1年生女子で7年ぶりに大会新記録が出るなど、充実した大会となりました。



▲ 元気よく飛び出す生徒たち



▲ 激しい先頭争いで男女とも好記録が誕生



▲ あと少し！ 懸命に走る生徒たち



絵本や紙芝居のおもしろさに引き込まれました～PTA文化部による読み聞かせ

11月30日（木）は、PTA文化部による読み聞かせが学年ごとに行われました。部員の皆さんは事前に生徒が興味を持つ絵本選びや練習を行なうなどして、本番の日を迎えました。

生徒たちは話のおもしろさに引き込まれ、集中して聞いていました。また、雰囲気作りのため、紙芝居に合わせた設営をされた学年もありました。



1月の行事予定

- ・ 9日(火) 始業式・大掃除
- ・ 10日(水) 3年実力テスト
- ・ 17日(水)～18日(木) 鹿児島学習定着度調査(1・2年生)
- ・ 31日(水) 立志式(5校時：2年生)
講演会(6校時) シンガーソングライター 森 源太 氏

○ 鹿児島学習定着度調査とは？

基礎的・基本的な知識や思考力・判断力・表現力等の学力を把握する調査で、県内すべての中学1・2年生を対象に「国・社・数・理・英」の5教科で行われます。本校では目標として「**全教科県平均 + 1%以上**」を掲げています。